



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月4日

上場会社名 マナック株式会社

上場取引所 東

コード番号 4364 URL <http://www.manac-inc.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 杉之原 祥二

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 杉之原 誠

TEL 084-954-3330

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	7,348	20.1	279	—	332	—	211	—
22年3月期第3四半期	6,119	—	△109	—	△32	—	△9	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	26.33	—
22年3月期第3四半期	△1.23	—

(注) 前年第1四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期の数値に係る対前年同四半期増減率については、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
23年3月期第3四半期	12,377	—	8,436	—	68.2	1,049.98
22年3月期	12,471	—	8,400	—	67.4	1,045.42

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 8,436百万円 22年3月期 8,400百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	2.50	—	5.00	7.50
23年3月期	—	2.50	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	7.50

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,500	6.6	180	37.7	270	14.9	170	△9.4	21.16

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、〔添付資料〕P. 3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 8,625,000株 22年3月期 8,625,000株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 590,096株 22年3月期 589,819株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 8,035,119株 22年3月期3Q 8,035,503株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、〔添付資料〕P. 3「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、エコポイント制度などの景気対策効果や新興国の経済成長に伴う生産や輸出が増加したことから、景気は緩やかに回復いたしました。一方では、円高やデフレ圧力が引続いていることから、先行き不透明感が一層強まっております。

化学業界においても同様に、厳しい経済環境が継続しております。

このような経済環境下、当社は、売上高が大きく伸びない中で、得意技術により市場需要に早期に対応する研究開発に取り組み、また生産性向上やコスト削減も継続的に粘り強く実施してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、前年同四半期に比しては増収増益となり、売上高は7,348百万円（前年同四半期比+1,228百万円、20.1%増）となり、営業利益は279百万円（前年同四半期は109百万円の損失）、経常利益は332百万円（前年同四半期は32百万円の損失）、四半期純利益は211百万円（前年同四半期は9百万円の損失）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

①ファインケミカル事業

ファインケミカル事業については、半導体関係向けの電子材料や機能性材料の需要が上向いたこと、医薬関連製品は経済状況に左右されることなく堅調に推移したことから前年同四半期を上回りました。その結果、売上高は4,082百万円、セグメント利益は486百万円となりました。

②難燃剤事業

難燃剤事業については、家電製品やIT産業関連製品のプラスチック分野に使用される材料が、エコポイント制度やアジア市場の活発な経済に支えられ前年同四半期を上回る需要となり、需要に応じた生産を続けていることから順調に推移いたしました。その結果、売上高は2,374百万円、セグメント利益は284百万円となりました。

③ヘルスサポート事業

ヘルスサポート事業については、人工透析用薬剤として使用される原材料の販売が主であります。国内需要はほぼ横ばいで推移しております。その結果、売上高は890百万円、セグメント利益は117百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①連結財政状態の変動状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて93百万円減少し、12,377百万円となりました。これは主に流動資産は144百万円増加したものの、有形固定資産が減価償却により259百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて129百万円減少し、3,941百万円となりました。これは主に流動負債は171百万円増加したものの、長期借入金返済により258百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて36百万円増加し、8,436百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加によるものです。

②連結キャッシュ・フローの変動状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は当第3四半期連結累計期間期初首に比べて496百万円減少し、1,385百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、656百万円となりました。

これは主として、税金等調整前四半期純利益及び非資金項目である減価償却費の計上によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、649百万円となりました。

これは主として、金利面を考慮し、有価証券勘定に計上されていた預入期間3ヵ月内の譲渡性預金等を、預入期間3ヵ月超の金銭の信託に振替えしたことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、489百万円となりました。

これは主として、借入金の返済によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年5月21日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

なお、この会計基準の適用に伴う損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	813,709	758,842
受取手形及び売掛金	2,983,373	2,991,754
有価証券	561,005	1,410,787
金銭の信託	1,550,000	750,000
商品及び製品	1,143,968	1,068,493
仕掛品	336,593	385,468
原材料及び貯蔵品	511,076	452,192
繰延税金資産	62,378	84,158
その他	157,861	73,711
貸倒引当金	△2,670	△2,503
流動資産合計	8,117,297	7,972,906
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,132,122	1,209,035
機械装置及び運搬具(純額)	569,887	747,318
土地	1,146,675	1,146,717
建設仮勘定	34,919	30,392
その他(純額)	76,613	85,995
有形固定資産合計	2,960,218	3,219,460
無形固定資産	5,055	6,012
投資その他の資産		
投資有価証券	896,377	869,882
関係会社長期貸付金	110,700	111,100
繰延税金資産	95,924	82,520
その他	192,736	209,841
貸倒引当金	△600	△600
投資その他の資産合計	1,295,138	1,272,745
固定資産合計	4,260,412	4,498,217
資産合計	12,377,709	12,471,123

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,338,584	1,097,594
短期借入金	1,204,177	1,374,864
未払法人税等	87,760	51,539
賞与引当金	64,682	92,401
その他	502,673	409,639
流動負債合計	3,197,878	3,026,038
固定負債		
長期借入金	253,492	511,976
退職給付引当金	242,259	225,885
役員退職慰労引当金	54,729	55,329
負ののれん	131,762	162,168
その他	61,128	89,602
固定負債合計	743,370	1,044,961
負債合計	3,941,249	4,071,000
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,757,500	1,757,500
資本剰余金	1,947,850	1,947,850
利益剰余金	5,104,144	4,953,132
自己株式	△243,450	△243,328
株主資本合計	8,566,043	8,415,154
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△50,953	10,740
為替換算調整勘定	△78,630	△25,772
評価・換算差額等合計	△129,583	△15,031
純資産合計	8,436,460	8,400,122
負債純資産合計	12,377,709	12,471,123

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	6,119,946	7,348,176
売上原価	5,080,901	5,852,570
売上総利益	1,039,045	1,495,606
販売費及び一般管理費	1,148,369	1,216,128
営業利益又は営業損失(△)	△109,323	279,478
営業外収益		
受取利息	5,195	3,657
受取配当金	14,489	14,061
有価証券売却益	1,088	—
負ののれん償却額	30,406	30,406
受取ロイヤリティー	30,094	35,310
助成金収入	15,203	—
その他	18,908	29,748
営業外収益合計	115,385	113,185
営業外費用		
支払利息	22,428	22,228
為替差損	10,592	33,906
その他	5,247	4,115
営業外費用合計	38,268	60,250
経常利益又は経常損失(△)	△32,205	332,413
特別利益		
前期損益修正益	12,636	—
固定資産売却益	21	733
投資有価証券売却益	5,499	2,670
その他	1,022	644
特別利益合計	19,179	4,048
特別損失		
固定資産除却損	5,268	3,488
固定資産売却損	1,402	—
投資有価証券評価損	3,018	489
ゴルフ会員権評価損	648	—
その他	600	85
特別損失合計	10,937	4,062
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△23,964	332,399
法人税、住民税及び事業税	8,967	105,000
法人税等調整額	△23,042	15,868
法人税等合計	△14,074	120,869
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△9,889	211,530

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△23,964	332,399
減価償却費	371,627	281,629
負ののれん償却額	△30,406	△30,406
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△9,100	△600
賞与引当金の増減額(△は減少)	△36,930	△27,718
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,736	16,373
受取利息及び受取配当金	△19,684	△17,719
支払利息	22,428	22,228
有形固定資産除売却損益(△は益)	6,649	2,754
投資有価証券売却損益(△は益)	△5,499	△2,670
売上債権の増減額(△は増加)	△227,806	△580
たな卸資産の増減額(△は増加)	△37,091	△102,172
仕入債務の増減額(△は減少)	426,712	243,380
その他	△55,119	7,824
小計	385,552	724,721
利息及び配当金の受取額	19,677	17,510
利息の支払額	△22,437	△22,265
法人税等の支払額	△19,736	△63,932
営業活動によるキャッシュ・フロー	363,055	656,033
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△126,335	△357,028
定期預金の払戻による収入	114,828	205,760
有価証券の売却による収入	—	450,000
金銭の信託の取得による支出	—	△1,950,000
金銭の信託の解約による収入	—	1,150,000
有形固定資産の取得による支出	△285,823	△56,767
投資有価証券の取得による支出	△26,044	△118,288
投資有価証券の売却による収入	38,719	25,447
子会社株式の取得による収入	225,440	—
貸付金の回収による収入	3,100	400
その他	1,777	775
投資活動によるキャッシュ・フロー	△54,337	△649,701
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	145,618	△240,926
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△157,716	△188,244
自己株式の取得による支出	△176	△122
配当金の支払額	△40,178	△60,263
財務活動によるキャッシュ・フロー	247,547	△489,556
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△12,824
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	556,265	△496,049
現金及び現金同等物の期首残高	1,877,496	1,881,134
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,433,762	1,385,084

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	ファインケミカル事業 (千円)	難燃剤事業 (千円)	ヘルスサポート事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	3,251,295	1,820,751	1,047,900	6,119,946	—	6,119,946
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	(—)	—
計	3,251,295	1,820,751	1,047,900	6,119,946	(—)	6,119,946
営業利益又は営業損失(△)	214,635	136,111	135,529	486,276	(595,599)	△109,323

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
ファインケミカル事業	機能性材料及び医薬品とそれらの中間体
難燃剤事業	プラスチック用難燃剤とそれらの関連製品
ヘルスサポート事業	人工透析液用原料

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	アジア	計
I 海外売上高(千円)	953,315	953,315
II 連結売上高(千円)		6,119,946
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	15.6	15.6

(注) 1. 国又は地域は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりであります。

アジア……台湾、中国、韓国

3. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、取り扱う製品の種類別に「ファインケミカル事業」「難燃剤事業」「ヘルスサポート事業」の3つに事業を区分し、それぞれが戦略を立案して事業活動を展開しております。これら3つの事業区分とそれらにおける主要製品は以下のとおりです。

ファインケミカル事業……機能性材料及び医薬品とそれらの中間体
 難燃剤事業………プラスチック用難燃剤とそれらの関連製品
 ヘルスサポート事業………人工透析液用原料

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			
	ファインケミカル事業	難燃剤事業	ヘルスサポート事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	4,082,745	2,374,903	890,526	7,348,176
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	4,082,745	2,374,903	890,526	7,348,176
セグメント利益（営業利益）	486,349	284,499	117,904	888,753

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	888,753
全社費用（注）	△609,275
四半期連結損益計算書の営業利益	279,478

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社管理部門に係る費用等であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

該当事項はありません。